

JSAF Enoshima Olympic Week 2006

帆 走 指 示 書

RS:X級 49er級 470級 レーザー級 レーザーラジアル級 [オリンピッククラス]
420級 FJ級 29er級 SS級 シーホッパー級 シーホッパー級 SR レーザー級 レーザーラジアル級 [U-19クラス]

2006年10月18日(水)～22日(日)
神奈川県藤沢市 江の島ヨットハーバー
共同主催団体 財団法人日本セーリング連盟
神奈川県セーリング連盟

1. 規 則

- 1.1 本レガッタには、セーリング競技規則 2005～2008 に定義された「規則」を適用する。
レース公示と帆走指示書の間には矛盾がある場合は、帆走指示書を優先する。
- 1.2 本文と英文とが矛盾する場合には、英文を優先する。

2. 競技者への通告

競技者への通告は、クラブハウス2階のレガッタ・オフィス内に設置された公式掲示板に掲示する。

3. 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、それが発効する当日の最初の予告信号予定時刻の60分前までに掲示する。
レース日程の変更は、それが発行する前日の18:00までに掲示する。

4. 陸上で発する信号

- 4.1 陸上で発する信号は、クラブハウス2階テラス前に設置されたフラッグ・ポールに掲揚する。
なお、オリンピッククラスについては「緑色旗が掲げられたフラッグポール」に、U-19クラスについては「ピンク色旗が掲げられたフラッグポール」に掲揚する。
- 4.2 回答旗が陸上で掲揚された場合、レース信号の回答旗説明文中の「1分」を「60分以降」と置き換える。

5. レースの日程

5.1 レースの日程を次の通りとする。

5.1.1 オリンピッククラス

10月18日(水)	10:00～16:00	登録受付・計測
	16:00～17:00	開会式ノスキッパーズ・ミーティング
10月19日(木)	10:25	最初のレースの予告信号予定時刻
10月20日(金)	9:55	最初のレースの予告信号予定時刻
10月21日(土)	9:55	最初のレースの予告信号予定時刻
	18:00	ウェルカムパーティー
10月22日(日)	9:55	最初のレースの予告信号予定時刻
	16:00	表彰・閉会式

5.1.2 U - 19クラス			
10月20日(金)	17:00 ~ 18:30	登録受付・計測	
10月21日(土)	8:00 ~ 8:30	登録受付・計測	
	8:30 ~ 9:00	スキッパーズ・ミーティング	
	10:25	最初のレースの予告信号予定時刻	
	18:00	ウェルカムパーティー	
10月22日(日)	9:55	最初のレースの予告信号予定時刻	
	16:00	表彰・閉会式	

5.2 各級の同時スタート

- 5.2.1 各級男女同時スタートとする。
- 5.2.2 オリンピッククラスのレーザー級とレーザーラジアル級は同時スタートとする。
- 5.2.3 U - 19クラスの420級とFJ級と29er級とSS級は同時スタートとする。
- 5.2.4 U - 19クラスのシーホッパー級とシーホッパー級 SRとレーザー級とレーザーラジアル級は同時スタートとする。

5.3 レースのスタートの順番

- 5.3.1 オリンピッククラスはRS:X級、49er級、470級、レーザー級 / レーザーラジアル級の順に行う。但し、風速及びフリートの状況により順番を変更する場合もある。
- 5.3.2 U - 19クラスは420級 / FJ級 / 29er級 / SS級、シーホッパー級 / シーホッパー級 SR / レーザー級 / レーザーラジアル級の順に行う。但し、風速及びフリートの状況により順番を変更する場合もある。
- 5.4 同じ日に引き続きレースが行われる場合は、フィニッシュ・ライン付近のレース・コミッティー・ボートにG旗を掲揚する。
- 5.5 同じ日に引き続きレースが行われる級の予告信号は、実行可能となれば直ぐに発せられる。次のレースまたは後に続くレースがまもなく始まる艇に注意を喚起するために、予告信号が発せられる最低4分以前に延期信号(回答旗)を掲揚する。

5.6 レース数

- 5.6.1 オリンピッククラスは11レースを予定しており、1日最大で4レース行われる場合がある。

但し、RS:X級は1日最大で3レースとし、引き続きのレースは2レースとする。

- 5.6.2 U - 19クラスは6レースを予定しており、1日最大で4レース行われる場合がある。

- 5.7 10月22日(日)は13:00を超えて予告信号を発しない。

6. クラス旗

クラス旗は、以下の通りとする。

クラス(級)	旗
RS:X級(男女)	RS:X旗
49er級	49er旗
470級(男女)	470旗
レーザー級 / レーザーラジアル級	レーザー旗
420級(男女) / FJ級(男女) / 29er級(男女) / SS級(男女)	FJ旗
シーホッパー級 / シーホッパー級 SR / レーザー級 / レーザーラジアル級	シーホッパー旗

7. レース・エリア

別図1の通りオリンピッククラスはエリアC(但しエリアAを使用する場合もある)、U-19クラスはエリアAとする。

8. コース

- 8.1 オリンピッククラスは別図2にコース旗とレグ間のおおよその角度、通過するマークの順序及びそれぞれのマークを通過する側を含むコースを示す。
- 8.2 U-19クラスは別図3にレグ間のおおよその角度、通過するマークの順序及びそれぞれのマークを通過する側を含むコースを示す。
- 8.3 予告信号の前あるいは同時に、レース・コミッティー・シグナルポートに帆走すべきコースのコース旗とスタートラインほぼ中央部からマーク1へのおおよそのコンパス方位を掲示する。

9. マーク

- 9.1 エリアCのマーク1、2、3及び4は、黄色の円筒形のブイとする。
エリアAのマーク1、2、3は、黄色の円筒形のブイとする。
- 9.2 指示11「コースの次のレグの変更」に規定する新しいマークは、元のマークと同じ色、形で水平に黒い帯がついたものとする。
- 9.3 スタート・マークはオレンジ色旗を掲揚したレース・コミッティー・シグナルポートとオレンジ色の円筒形のブイである。
フィニッシュ・マークは青色旗を掲揚したレース・コミッティー・ポートとオレンジ色の円筒形のブイ(但し、RS:X級と49er級はオレンジ色の球形のブイ)である。

10. スタート

- 10.1 レースは、規則26を用いて、予告信号をスタート信号の5分前として、スタートさせる。
- 10.2 スタート・ラインは、スターボードの端にあるスタート・マーク上でオレンジ色旗を掲揚しているポールとポートの端のブイの間とする。
- 10.3 予告信号が発せられていない艇は、スタート・エリアを回避しなければならない。
- 10.4 スタート信号の4分以降にスタートする艇は、DNS(Did Not Start)と記録される。
この項は規則A4.1を変更している。
- 10.5 個別のリコールの際、競技艇に知らせるためレース・コミッティー・シグナルポート以外のレース・コミッティー・ポートにもX旗を掲げる場合がある。ただし、その場合は音響信号は発せられない。
- 10.6 ゼネラル・リコールの際、競技艇に知らせるためレース・コミッティー・シグナルポート以外のレース・コミッティー・ポートにも第一代表旗を掲げる場合がある。ただし、その場合は音響信号は発せられない。また、当該レース・コミッティー・ポートが行う第一代表旗の降下については、競技規則レース信号「予告信号は降下の1分後に発する。」の意味は持たないものとする。

11. コースの次のレグの変更

- 11.1 コースの次のレグを変更するために、レース委員会は新しいマーク(指示9.2)を設置し(またはフィニッシュ・ラインを移動し)、実行できれば直ぐに元のマークを除去する。この変更は、新しいマークがまだ定位置になくとも、先頭艇がそのレグを帆走し始める前に信号が発せられる。新しいマークを回航した後に回航するマークは、コースの形を維持するために更に信号を発しなくとも、新しい位置に変更することができる。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。
- 11.2 レース委員会はレグの方向がスターボード側に変更されたときは緑色のボードを、ポート側に変更さ

れたときは赤色のボードを掲示する。

12. フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、ポートの端にあるフィニッシュ・マーク上でオレンジ色旗を掲揚しているポールとスターボードの端のブイの間とする。

13. ペナルティー方式

13.1 RS:X 級を除く各級は、付則 P を適用する。

13.2 49er 級では、規則 44.1 及び 44.2 を 1 回のタックと 1 回のジャイブを含む 1 回転が求められると変更する。

13.3 規則 31.2 または 44.1 に基づき回転ペナルティーを履行した艇、またはリタイアした艇は、抗議締切時間内にレガッタ・オフィスにおいて報告書を完成させなければならない。報告書フォームは、レガッタ・オフィスで入手できる。

14. タイム・リミット及び目標時間

14.1 先頭艇の最初のマーク 1 までのタイム・リミット及びフィニッシュまでの所要目標時間 (分) は下記の通りとする。

級	最初のマーク 1 のタイム・リミット	所要目標時間
RS:X・49er	20 分	30 分
その他の級	30 分	60 分

・マーク 1 のタイム・リミット内に 1 艇もマーク 1 を通過しなかった場合、レースを中止する。

・所要目標時間を大幅に超過しそうな場合あるいは超過した場合、レースを中止することができる。

14.2 男女別に各級の先頭艇がフィニッシュ後、15 分以内にフィニッシュしない艇は、DNF (Did Not Finish) と記録される。この項は規則 35 と A4.1 を変更している。

(先頭艇: レース委員会によりスタート時に OCS、BFD、DNS と記録された艇以外の艇で、規則 28.1 に基づきコースを帆走して、定義通りにフィニッシュした最初の艇とする)

15. コースの短縮

レース委員会は、規則 32.1 に規定された理由の他、レースが所要目標時間を大幅に超過しそうな場合は、コースを短縮することができる。

16. 抗議と救済の要求

16.1 抗議書は、レガッタ・オフィスで入手できる。抗議書および救済要求は抗議締切時刻内に提出されなければならない。

16.2 各級の抗議締切時刻は、その日の当該級の最終レース終了後 70 分とする。これらの時刻は公式掲示板に掲示される。同じ抗議締切時刻をレース委員会と Jury による全ての抗議および救済の要求に適用する。この項は規則 61.3 と 62.2 を変更している。

16.3 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に通告するために、抗議締切時刻後 20 分以内に通告書を掲示する。審問はレガッタ・オフィスに隣接する部屋で行われる。

16.4 レース委員会または Jury による抗議を規則 61.1(b) に基づき艇に通告するために、抗議の公

示を掲示する。

- 16.5 指示 13.1 に基づき規則 42 違反を認めたら、またはジュリーにより失格とされた艇のリストは、抗議締切時刻までに掲示される。
- 16.6 指示 10.3、13.3、18.2、19、21、22、24 の違反は、艇による抗議あるいは救済要求の根拠とはならない。この項は規則 60.1(a) を変更している。これらの違反に対するペナルティーはジュリーの裁量により決定する。
- 16.7 大会最終日に審問の再開を要求する場合、次の時間内に提出されなければならない。
- 前日に行われた判決に関する審問の再開の要求は、翌日の抗議締切時刻内。
 - 最終日の判決に関する審問の再開の要求は、判決後 30 分以内とする。
この項は規則 66 を変更している。
- 16.8 規則 70.4 に規定されたとおり、ジュリーの判決を最終とする。
- 16.9 抗議しようとする艇は、フィニッシュ又はリタイア後、直ちにフィニッシュのレース・コミッティー・ボートのレース委員にその旨を告げなければならない。なお、フィニッシュのレース・コミッティー・ボートに告げることが困難なリタイア艇は、近くのレース・コミッティー・ボートに告げること。

17. 得点

- 17.1 大会が成立するためには、オリンピッククラスは3レースを、U - 19クラスは1レースを完了しなければならない。
- 17.2
- 4レース以下しか完了しなかった場合、艇のシリーズの得点は、レース得点の合計とする。
 - 5レース以上8レース以下完了した場合、艇のシリーズの得点は、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。
 - 9レース以上完了した場合、悪い得点順に2レースを除外したレース得点の合計とする。
- 17.3 指示 16.6 に基づいて課せられたペナルティーの得点記録の略語は DPG (Discretionary Penalty Given) とする。
- 17.4 指示 18.1 に違反した艇は、PTP (Penalty of Three Points) と記録され、レース委員会により、ペナルティーとして審問なしに、指示 18.1 後段に基づく3点の合計点がシリーズ最終得点に加えられる。この項は規則 63.1 と規則 A5 を変更している。

18. 安全規定

- 18.1 出艇・帰着申告 (Check-in/Check-out)
各艇の代表者はその日の最初のレースの予告信号予定時刻の80分前から30分前までに、レガッタ・オフィスの出艇申告書 (Check-in form) にサインしなければならない。また、帰着後は速やかに帰着申告書 (Check-out form) にサインしなければならない。その日の最終レース終了後に帰着申告する場合は、遅くとも抗議締切時刻内に完了しなければならない。これらの申告違反の場合は最も近いレースに対して、指示 17.4 に基づいてペナルティーを与える。但し、同一レースに重複してペナルティーが与えられることはない。
- 18.2 ペナルティー以外の理由でレースからリタイアした艇は、帰着後できるだけ早く、レガッタ・オフィスにおいてリタイア報告を完成させなければならない。報告書フォームは、レガッタ・オフィスで入手できる。なお、実行可能であれば、レース・エリアを離れる前にレース委員会へ通知しなければならない。
- 18.3 艇の乗員は、海上にいる間は常時、適切なライフ・ジャケットを着用していなければならない。ウェット・スーツやドライ・スーツは、適切な個人用浮力体ではない。

- 18.4 レース・コミッティー・ボート、ジュリー・ボート、指示 19.4 の場合のサポート及びコーチ・ボートは、危険な状態である艇を強制的に救助する。救助されたことによる艇からの救済の要求は認められない。

19. 支援艇

- 19.1 サポート・ボート、コーチ・ボートは、各日の最初の予告信号予定時刻の60分前までにレガッタ・オフィスで登録しなければならない。
- 19.2 サポート・ボート、コーチ・ボートは、指示 19.4 に基づくレース委員会の要請がない限り、最初にスタートするクラスの予告信号の時刻からすべての艇がフィニッシュするか、またはレース委員会が延期、ゼネラル・リコールもしくは中止の信号を発するまで、艇がレースをしているエリアの外側にいなければならない。
- 19.3 指示 19.1、19.2 に従わなかった場合、違反した者に関連する全ての艇に対しペナルティーが課せられることがある。
- 19.4 レース・コミッティー・シグナルボートまたはレース・コミッティー・ボートに赤十字旗が掲揚された場合、「サポート及びコーチ・ボートは、レースをしているエリアを含む全エリアにおいて、危険な状態にある艇を可能な限り速やかに救助しなければならない」ことを意味する。
- 19.5 大会期間中に競技艇を支援する艇及び者が、規則 69 に違反した場合は、関連する全ての艇に対し、ペナルティーが課せられる。

20. 装備と計測のチェック

- 20.1 艇または装備は、クラスルール、レース公示、帆走指示書に従っていることを確認するため、いつでも検査されることがある。海上では艇はレース委員会計測員により、検査のために直ちに指定したエリアに向かうことを指示されることがある。
- 20.2 主催団体から艇をチャーターした参加者は、自分がサインしたチャーターボート・レギュレーションにしたがうものとする。

21. 乗員の交替と装備の交換

- 21.1 艇長の交替は許可されない。クルーの交替はレース委員会の書面による事前承認なしでは許可されない。
- 21.2 損傷または紛失した装備の交換は、レガッタ・オフィスにある申請書に記入の上、レース委員会に提出し許可を得なければならない。
- 21.3 損傷または紛失した装備を海上で交換する場合、その日に出場する次のレースの予告信号前にレース委員会に告げなければならない。その艇は帰着後、実行可能な限り直ぐに指示 21.2 にある申請書に記入し、レース委員会に提出しなければならない。
- 21.4 スペア・ギアはバッグに入れてセールナンバーを明記し、各日、最初の予告信号予定時刻の90分前までにレガッタ・オフィスに持参して申請すればレースコミッティー・ボートに搭載する。スペア・ギアはレース中以外の時に受け取ることができる。スペア・ギアは各日、抗議締切時刻までにレガッタ・オフィスに取りに来ること。預かったスペア・ギアが紛失した、または損傷を受けたとしても主催団体もレース委員会も責任は負わない。

22. 無線通信

艇は、海上にいる間、無線の送受信を行ってはならない。この制限は、携帯電話にも適用する。

23. 運営艇

運営艇の標識は次のとおりとする。

レース・コミッティー・ボート	オリンピッククラス担当は緑色旗 U - 19クラス担当はピンク色旗 (但し、どちらもシグナル・ボートには掲揚しない)
ジュリー・ボート	白地に黒字で JURY の旗

24. ゴミの処理

艇は、ゴミを水中に捨ててはならない。ゴミは支援艇あるいはレース・コミッティー・ボートに置くことができる。

25. 責任の否認

競技者は、完全に自己の責任で大会に参加している。規則 4「レースをすることの決定」参照のこと。主催団体は、大会前、大会期間中または大会後に大会に起因して生じた物的損害、人的傷害あるいは死亡に関し、いかなる賠償責任をも負うものではない。

26. 賞

26.1 オリンピッククラス

RS:X級男子	1位	トロフィー
RS:X級女子	1位	トロフィー
49er級男子	1位～3位	トロフィー
470級総合	1位～3位	トロフィー
470級女子	1位～3位	トロフィー
レーザー級男子	1位～3位	トロフィー
レーザーラジアル級女子	1位～3位	トロフィー

参加数10艇以下の級については、1位のみを賞の対象とする。

470級の Mix チームについて、5艇以上の参加があれば賞の対象とする。

26.2 U - 19クラス

420級男子	1位～3位	トロフィー・賞状
420級女子	1位～3位	トロフィー・賞状
FJ級男子	1位～3位	トロフィー・賞状
FJ級女子	1位～3位	トロフィー・賞状
29er級男子	1位～3位	トロフィー・賞状
29er級女子	1位～3位	トロフィー・賞状
SS級男子	1位～3位	トロフィー・賞状
SS級女子	1位～3位	トロフィー・賞状
シ・ホッパ - 級男子	1位～3位	トロフィー・賞状
シ・ホッパ - 級 SR 女子	1位～3位	トロフィー・賞状
レーザー級男子	1位～3位	トロフィー・賞状
レーザーラジアル級女子	1位～3位	トロフィー・賞状

参加数10艇以下の級については、1位のみを賞の対象とする。